

第17回関東産婦人科乳腺医学会

プログラム・抄録集

【テーマ】

乳腺も診れる産婦人科医になる

会長：竹田 奈保子（たけだ乳腺・婦人科クリニック 院長）

会期：完全WEB開催

〔ライブ配信〕2026年8月30日（日）

〔オンデマンド配信〕2026年9月4日（金）正午～10月23日（金）24:00

目 次

ご挨拶	3
参加者の皆様へ	4
日程表	7
講演抄録・略歴	
特別講演	10
教育講演1	12
教育講演2	14
教育講演3	16
乳房エキスパート看護職セッション	18
スポンサードセミナー1	20
スポンサードセミナー2	22
関連学会・研究会予定	24
協賛企業・団体一覧	26

ご挨拶



この度、第17回関東産婦人科乳腺医学会長を拝命しました竹田奈保子です。大変光栄に存じております。産婦人科の先生方に、まず一步、乳腺に関わってみたいと思います、今回の学会のテーマを「乳腺も診れる産婦人科医になる」と決めました。

乳がんが女性罹患癌No.1となり28年。乳房の悩み事をかかりつけの産婦人科で相談する流れは極めて自然です。しかしながら、産婦人科医たちは乳房を専門外とし、患者さんの意識とギャップが生じている現状があります。産婦人科医が乳腺にまで関わることは決して容易なことではありません。時に、婦人科の診察より手間も時間もかかります。しかし、かかりつけの産婦人科医が、乳房の相談ごとをひとまず聞いてくれて、診察してもらえたら患者さんはどんなに安心するでしょうか。

乳腺診療において産婦人科医に求められること、知っておきたいことがわかると、もう少し勉強してみたいくなるかもしれません。乳がん検診・乳腺診察は女性ヘルスケアの一つ、産婦人科医の領域です。あきらめずにかかわり続けることが大切と思っております。乳腺診療にすでに携わっている、少し乳腺に興味をもっている、などきっかけは様々かと思いますが、この学会ページを覗いていただきありがとうございます。今回の関東産婦人科乳腺医学会は初の試みとしてweb開催とし、関東だけでなく全国から、そして産婦人科医のみならず、他科、そして多職種の方々が気軽にご参加いただける形としました。

明日から役立つ乳腺外来のポイントを学び、産婦人科医が行う乳腺外来において必要な知識と技術を得るお手伝いが少しでもできればと願います。

第17回関東産婦人科乳腺医学会
会長 竹田 奈保子
(たけだ乳腺・婦人科クリニック 院長)

参加者の皆様へ

I. 参加費

医師：8,000円 その他の方：4,000円

初期研修医・学生：無料 * 身分証をご提示ください。

- ・ 参加申込は、本会ホームページ「参加登録」ページより、お申込みいただけます。
- ・ 上記の参加費で、ライブ配信・オンデマンド配信視聴のいずれも可能です。
- ・ 参加証および領収書は、本会ホームページ「MyPage」より、ダウンロードいただけます。

II. プログラム抄録集

参加登録をされた方は、本会ホームページ「MyPage」にて、閲覧・ダウンロードいただけます。

※今回、冊子でのお渡しはございません。

III. オンデマンド配信について

本会ホームページ「MyPage」より、学会プログラムを後日、オンデマンド配信いたします。

オンデマンド配信の期間：2026年9月4日（金）正午～10月23日（金）24:00

IV. 各種研修証明について

医師の方へ：当学会プログラムにご参加の方には、以下を発行致します。

日本専門医機構 参加単位
産婦人科領域講習
日本医師会 生涯教育制度参加証
日本産婦人科医会 研修参加証

助産師の方へ：当学会プログラムは、以下に該当する講義を含みます。

日本助産評価機構更新要件 選択研修
日本産婦人科乳腺医学会 乳房エキスパート看護職制度単位

◆日本専門医機構 学術集会参加単位

単位申請期間：2026年9月4日（金）正午～9月11日（金）正午です。

（注）9月11日（金）正午を過ぎると単位申請は出来ませんので予めご了承ください。

※全ての単位取得につきまして、ライブ配信とオンデマンドで重複受講した場合、オンデマンド参加日で単位が付与されます。

◆日本専門医機構 参加単位

＜ライブ配信＞

ライブ配信にて、WEB視聴した場合、日本専門医機構単位：2単位が取得可能です。

単位の申請はホームページのMyPage内「単位申請」ボタン内から会員番号を入力して申請してください。

単位申請時間：8月30日（日）8:50～17:20

＜オンデマンド配信＞

単位付与期間内にオンデマンドを視聴した場合、日本専門医機構単位：2単位が取得可能です。

単位の申請はホームページのMyPage内「単位申請」ボタン内から会員番号を入力して申請してください。

※単位申請には期限がありますので必ず期間内に申請をお願いします。

単位申請期間：2026年9月4日（金）正午～9月11日（金）正午

（注）9月11日（金）正午を過ぎると単位申請は出来ませんので予めご了承ください。

◆「日本産婦人科医会」研修参加証（医会シール）

＜ライブ配信＞

日本産婦人科医会会員である方に限り、1枚発行申請が可能です（後日発送いたします）。

単位の申請はホームページのMyPage内「単位申請」ボタン内から会員番号を入力して申請してください。

単位申請時間：8月30日（日）8:50～17:20

＜オンデマンド配信＞

日本産婦人科医会会員である方に限り、1枚発行申請が可能です（後日発送いたします）。

単位の申請はホームページのMyPage内「単位申請」ボタン内から会員番号を入力して申請してください。

単位申請期間：2026年9月4日（金）正午～10月23日（金）24:00

（注）単位期間を過ぎてからの単位申請は出来ませんので予めご了承ください。

◆日本産婦人科学会 領域講習単位

＜ライブ配信＞

対象セッション：特別講演、スポンサードセミナー1・2、乳房エキスパート看護職セッション

日本専門医機構産婦人科領域講習単位付与をご希望の方は、講習を最初から最後まで全て視聴してください。

MyPage内の「単位申請」ボタンからセッションの最初と最後に表示されるパスワードを入力して、「単位申請はこちら」のボタンより日本産婦人科学会の会員番号とパスワードを入力して、ご自身で単位申請を行ってください。

＜オンデマンド配信＞

対象セッション：特別講演、スポンサードセミナー2

日本専門医機構産婦人科領域講習単位付与をご希望の方は、講習を最初から最後まで全て視聴してください。

MyPage内の「単位申請」ボタンからセッションの最初と最後に表示されるパスワードを入力して、「単位申請はこちら」のボタンより日本産婦人科学会の会員番号とパスワードを入力して、ご自身で単位申請を行ってください。

単位申請期間：2026年9月4日（金）正午～9月11日（金）正午

（注）9月11日（金）正午を過ぎると単位申請は出来ませんので、時間に余裕を持って視聴、申請をお願いいたします。

◆日本医師会 生涯教育制度

※ライブ配信のみ

対象セッション：教育講演1～3、特別講演、スポンサードセミナー1・2、
乳房エキスパート看護職セッション

対象セッションの最初と最後に表示されるパスワードを「MyPage」内の単位申請ボタンを押して、入力いただき、「申請する」のボタンを押すと、単位申請が完了いたします。

◆日本助産評価機構更新要件 アドバンス助産師選択研修

※ライブ配信のみ

対象セッション：乳房エキスパート看護職セッション 8月30日（日）16:10～17:10

セッションの最後に表示されるパスワードを「MyPage」内の単位申請ボタンを押して、入力すると受講証明書ダウンロードボタンが出現し、ダウンロード可能になります。

◆日本産婦人科乳腺医学会 乳房エキスパート看護職制度単位

※ライブ配信のみ

対象セッション：乳房エキスパート看護職セッション 8月30日(日) 16:10～17:10

対象セッションへのログイン情報をもとに単位付与の手続きを行います。

単位付与を希望される方は、「MyPage」内の単位申請ボタンより、申請をお願いいたします。

【お問合せ先】

第17回関東産婦人科乳腺医学会 運営事務局

株式会社メッド 東京品川営業所

〒108-6028 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティ A棟28階

TEL：03-6717-2790 FAX：086-463-5345(本社)

Email：17kanto-jbsgo@med-gakkai.com

V. 演者の皆様へ

発表データについて

- ・スライド作成は16：9をお薦めいたします。
- ・発表演題に関する利益相反 (Conflict of Interest：COI) 開示について、日本産婦人科乳腺医学会ホームページ内<http://jbsgo.jp/members/coi.html>の指針をご参照ください。

日程表

2026年8月30日(日) WEBライブ配信 ※後日WEBオンデマンド配信あり(一部セッションを除く)

時間	内容
8:50～9:00	開会挨拶 竹田 奈保子 (第17回関東産婦人科乳腺医学会 会長)
9:00～9:50	教育講演 1 ☆ 0.5 単位 「マンモグラフィ検診における拾い上げのコツ」 座長：寺本 勝寛 (山梨県厚生連健康管理センター 産婦人科) 演者：角田 博子 (聖路加国際病院 放射線科) オンデマンドあり
9:50～10:40	教育講演 2 ☆ 0.5 単位 「苦手な非腫瘍性病変も、こうすれば所見が見えてくる」 座長：的野 博 (的野ウイメンズクリニック 院長) 演者：何森 亜由美 (香川医療生活協同組合 高松平和病院 乳腺外科) オンデマンドあり
10:40～10:50	休憩
10:50～11:40	教育講演 3 ☆ 0.5 単位 「知っておきたい妊娠・授乳期の乳房超音波検査 ～症例から学ぶ乳腺疾患～」 座長：関根 憲 (関根ウイメンズクリニック 理事長・院長) 演者：前田 奈緒子 (Sono+) オンデマンドあり
11:40～12:25	休憩 ※協賛広告スライド上映予定
12:25～12:40	総会
12:40～13:40	特別講演 ★ 1 単位、☆ 1 単位 「乳房超音波精密検査後に乳腺外科紹介か自施設でフォローアップするかの見極めポイント －診断カテゴリーを理解しよう－」 座長：宮城 悦子 (横浜市立大学医学部 産婦人科学教室) オンデマンドあり 演者：中島 一毅 (川崎医科大学総合医療センター 外科／川崎医科大学 総合外科学)
13:40～13:50	休憩
13:50～14:50	スポンサードセミナー 1 ★ 1 単位、☆ 1 単位 「乳癌集学的治療の最前線 – 全身薬物療法に基づく低侵襲局所療法の実践 –」 座長：高松 潔 (つくばみらい遠藤レディースクリニック 顧問) 演者：佐藤 一彦 (医療法人徳洲会 東京西徳洲会病院) 共催：中外製薬株式会社
14:50～15:00	休憩
15:00～16:00	スポンサードセミナー 2 ★ 1 単位、☆ 1 単位 「乳癌診療の継続を支えるエクオールの役割 ～乳腺外科医の視点から～」 座長：竹田 奈保子 (たけだ乳腺・婦人科クリニック 院長) 演者：木村 優里 (独立行政法人国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター 乳腺外科) 共催：大塚製薬株式会社 オンデマンドあり
16:00～16:10	休憩
16:10～17:10	乳房エキスパート看護職セッション ★ 1 単位、☆ 1 単位、○、● 「患者の納得と安心を支える ～産後1年4ヶ月で乳房全摘となった事例から～」 座長：坂田 清美 (帝京平成大学 ヒューマンケア学部 看護学科) 演者：山本 淳子 (母乳・育児相談室 Mamma Mama)
17:10～17:20	次期会長挨拶 坂田 清美 (帝京平成大学 ヒューマンケア学部 看護学科) 閉会挨拶 竹田 奈保子 (第17回関東産婦人科乳腺医学会 会長)

★ 専門医機構産婦人科領域講習

☆ 日本医師会生涯教育

● 乳房エキスパート看護職セッション ○ 日本助産評価機構更新要件 選択研修

※上記プログラムに参加された方に、日本産婦人科医会の研修会出席証明を登録致します。

講演抄録・略歴

【特別講演】

乳房超音波精密検査後に乳腺外科紹介か 自施設でフォローアップするかの見極めポイント －診断カテゴリーを理解しよう－

川崎医科大学総合医療センター 外科／川崎医科大学 総合外科学

中島 一毅

【乳癌検診・乳癌診断カテゴリーについて】

日本ではアウトカムが異なる二つのカテゴリーが使われている。「検診カテゴリー（以後、SC：Screening Category）」と「診断カテゴリー（以後、DC：Diagnostic Category）」である。SCは「検診マンモグラフィ（SMG：Screening Mammography）カテゴリー」、「検診超音波（SUS：Screening Ultrasound）カテゴリー」を基にした、「総合判定カテゴリー」と考えてもらえればよく、検診として「要精検としない」、「要精検とする」を判定する、「検診結果を決める」もの。DCは、「診断マンモグラフィ（DMG：Diagnostic Mammography）カテゴリー」、「診断超音波（DUS：Diagnostic Ultrasound）カテゴリー」を対象病変毎に総合的に考えて、最終診断の為の手法を推奨するか、経過観察、あるいは検診へ戻すかを判定するもので「診断にいたるための適切なマネジメント」を提案するものである。今回頂いた「乳腺外科へ紹介すべき診断か、自分でフォローアップ可能かの見極めポイント」は、精密検査として先生方の施設を受診された方に対するマネジメントを問われているので「診断カテゴリー」に該当する。そこで2025年10月に日本乳癌学会で推奨された最新の診断カテゴリーについて解説したいと考えている。繰り返しになるが、診断カテゴリーはDMG、DUSを総合的に判断し、診断する必要性と診断にいたるベストは行程を推奨するマネジメントを提供するものである。多くの場合にDMG⇒DUS⇒DC判定となるため、DUS判定後の総合的判定がキモであり、DUSが重要となる。今回のテーマでは、DC3かDC4AかDC4B以上の判定がポイントであるため、要精検となった病変毎に、「SMG C3, 4, 5の腫瘍」、「SMG C3, 4, 5の石灰化」、「SMG C3のFAD」、「SMG C3, 4の構築の乱れ」について解説を行いたい。

表2 「日本乳癌学会」で提唱する精密検査における「新しい診断カテゴリー」

診断カテゴリー	悪性の可能性	推奨マネジメント	マネジメント解説
1	0%	精密検査終了推奨⇒定期検診	基本マンモグラフィ検診受診を推奨
2	0%	精密検査終了推奨⇒定期検診	基本マンモグラフィ検診受診を推奨
3	2% ≥	経過観察推奨	6～12カ月での精密検査再受診を推奨
4A	10% ≥, > 2%	画像誘導下生検を考慮すべきだが、短期経過観察も可（*1）	生検を行わない場合、6カ月以内の再精密検査必要
4B	50% ≥, > 10%	画像誘導下生検推奨	生検
4C	95% >, > 50%	画像誘導下生検推奨	生検
5	≥ 95%	画像誘導下生検推奨	生検
0	最終判定保留	MG / TOMO, 非造影US以外の検査（MRI, CEUS等）を追加、再度判定予定*2	6カ月以内にDC1～5に確定判定

*1 診断カテゴリー 4A は、悪性である可能性が最大10%の病変を示すものである。このことを正確かつ十分に患者に説明し、患者が自身の価値観や希望に基づいてそのリスクを受け入れることに同意した場合には、推奨される生検に代えて短期経過観察を行うことも選択肢となる。ただし、カテゴリー 4A の基本的なマネジメント方針は生検である。

*2 MG：マンモグラフィ、TOMO：トモシンセシス、US：乳房超音波検査、CEUS：造影超音波検査

表は「乳癌と臨床40巻5号 p43 表2より引用



中島 一毅（なかしま かずたか）

川崎医科大学総合医療センター 外科 部長
川崎医科大学 総合外科学 特任教授

【学歴】

昭和63年 山口大学医学部 卒業
平成7年 山口大学医学部大学院 卒業、医学博士号 取得

【職歴】

平成14年4月 川崎医科大学 乳腺甲状腺外科 講師・附属病院 医長
平成24年5月 川崎医科大学 総合外科学 准教授・附属川崎病院 副部長
平成28年12月 川崎医科大学 総合外科学 准教授・総合医療センター 外科副部長
平成31年4月 川崎医科大学 総合外科学 特任教授・総合医療センター 外科部長

【所属学会・役職】

日本乳腺甲状腺超音波診断医学会 理事／乳腺用語診断基準委員会 委員長／教育委員／編集委員
日本乳癌検診学会 理事／評議員／超音波精度管理委員会 委員長／精密検査あり方委員会委員／研修委員会委員・超音波技術セミナー担当委員
第38回日本乳癌検診学会総会 会長
日本超音波医学会 (JSUM) 編集委員・JMU Editor／保健委員
日本乳癌学会 (JBCS) 評議員／教育委員会委員／予防・検診委員会委員
日本形成外科学会 ガイドライン委員会 乳房再建部門 委員
日本乳がん検診精度管理中央機構 教育研修委員会 超音波部門 顧問
乳がん最新情報カンファランス 世話人
中四国乳房超音波研究会 世話人・事務局長
山陽乳房画像研究会 世話人・事務局長
岡山県生活習慣病検診等管理指導協議会 乳がん部会 委員

【専門資格等】

日本乳癌学会 乳腺指導医・乳腺専門医
日本外科学会 外科指導医・外科専門医
日本超音波医学会 超音波指導医(乳腺)・超音波専門医
日本がん治療認定機構 がん治療認定医
日本乳がん検診精度管理中央機構 マンモグラフィ読影講習認定／超音波読影講習会顧問

【教育講演 1】

マンモグラフィ検診における拾い上げのコツ

聖路加国際病院 放射線科

角田 博子

マンモグラフィ (MG) 検診において見落としを減らし拾い過ぎを避ける判断は常に難しいものです。今回、精検の要不要について、その判断のコツを所見別に紹介したいと思います。

まず落とすか拾うかで迷うのは、局所的非対称性陰影 (FAD) ではないでしょうか。カテゴリー3として拾い上げる偽陽性症例を精検不要とするコツは何でしょうか。腫瘍あるいはFADはMG上高濃度 (白く) みえるので私たちはつい白いものを眼で追ってしまいがちになります。しかしむしろ脂肪 (黒い) ほうからアプローチし、所見は脂肪で取り巻かれた正常乳腺かどうかをみることで拾いすぎを避けることが可能な場合があります。さらに、高濃度乳房は偽陰性が多いことが分かっていますが、判断の最後に乳腺の辺縁をぐるっと一周チェックするという方法で腫瘍そのものの境界が見えない場合でも2次的な所見としての引き連れ所見などで見落としを避けられる場合もあります。左右の撮影条件の比較も重要です。区域性濃度上昇は乳腺腺葉に沿った比較的広範囲の乳癌を反映する所見ですが、左右差をチェックすることで、広範な病変を見落とすリスクを避けることができます。集簇する淡く不明瞭な石灰化を拾うかどうかの判断も難しいのですが、次の検診でも生命予後に左右されないかどうかを常に念頭において判断することも重要です。石灰化の背景が脂肪濃度だけの場合には、たとえ癌であったとしても生命予後には直結しない可能性が高いでしょう。

過去に検査の履歴がある場合には必ず比較することが重要です。比較により、偽陰性と偽陽性となりがちな症例を正しく判断することも可能な場合があります。上述した黒からみる、という方法は比較においても有用です。比較する場合、直前の画像のみではなく、少し前の画像もチェックすることでより有用となる場合があることも知っておきたいポイントの一つです。

上記をはじめとするポイントについて具体的症例を提示しながら紹介いたします。



角田 博子（つのだ ひろこ）

聖路加国際病院 放射線科

【学歴・職歴】

1985年 筑波大学医学専門学群 卒業
筑波大学付属病院放射線科 研修医および医員
(筑波記念病院、筑波メディカルセンター病院、筑波学園病院の常勤を含む)

1989年 埼玉小児医療センター放射線科 研修医

1990年 筑波大学付属病院放射線科 医員

1991年 きぬ医師会病院放射線科 診療科長

1994年 乳がん検診 研修(西南フィンランド協会)

1999年 東京都立府中病院診療放射線科 主事

2002年4月より 聖路加国際病院放射線科 医幹

2003年8月より 副医長

2005年10月より 同 医長

2014年11月より 同 放射線科乳房画像診断室 室長

2020年4月より2021年3月まで 聖路加国際大学臨床疫学HTA センター研究 教授

2022年4月より2023年3月まで 聖路加国際大学臨床研究センター臨床 准教授兼任

2026年4月より 聖路加国際病院放射線科 定年常勤嘱託

【教育講演2】

苦手な非腫瘍性病変も、こうすれば所見が見えてくる

香川医療生活協同組合 高松平和病院 乳腺外科

何森 亜由美

乳房超音波検査における非腫瘍性病変は、明瞭な腫瘍を形成せず、背景乳腺の等エコーパターンやアーチファクトに紛れて描出されるため、検出および正常バリエーションとの鑑別が難しい。

鑑別には、乳腺内に描出される樹枝状等エコーパターンの解剖学的成り立ちを理解する必要がある。この等エコーパターンは、乳管や終末乳管小葉単位 (TDLU) そのものが直接描出されているのではなく、その周囲に存在する線維性の周囲間質が、背景の浮腫状間質と識別されて描出された構造であり、乳管走行に沿った連続性を有する。

非腫瘍性病変との鑑別が必要な正常・良性バリエーションは、樹枝状等エコー構造を構成する周囲間質の量と分布の偏り、TDLUの分布形態、腺葉の重なり、乳腺の脂肪化などにより形成される。したがって、非腫瘍性病変に類似する正常バリエーションでは、線維性周囲間質としての均質性、構造境界である高エコー間質 (浮腫状間質) の保持、乳管・脈管構造との連続性、乳管走行に沿った規則性が観察される。BI-RADSv2025、JABTSガイドライン第4版増補版に新しく収載された、Glandular Tissue Component (GTC) の評価も、この周囲間質の量と分布を読み解く視点として重要である。局所性 highGTC、すなわち Focal Asymmetric Normal Breast (FANB) は非腫瘍性病変との鑑別を要するが、FANBを立体的に理解するための4分類を用いることで、正常構造パターンの評価が容易になると考えられる。

一方、等エコー構造内に上皮性増殖性変化が生じた場合、良性病変では増大が比較的均質で、既存の構造パターンを大きく崩さないものについては、正常パターンが保持されていると読める場合に「経過観察」と判定できる。これに対し悪性病変では、上皮の増殖や間質反応により正常構造の境界が消失し、等エコー構造の癒合や途絶、不均質化、方向性の乱れといった所見が見られる。これらの構造変化を認める場合は、「生検」対象と判定できる可能性がある。

これらを判定するためには、静止画のみで評価するのではなく、乳管走行が長軸となるようにプローブを当て、扇状走査や角度調整により、正常構造パターンの連続性と規則性を動画で立体的に確認することが重要である。本講演では、非腫瘍性病変と正常バリエーション、良性病変との違いを解剖学的視点から整理し、検出・鑑別・生検適応の判断に役立つ観察法を提示する。

参考文献

- 1) Izumori, A., Kokubu, Y., Sakai, T. et al. Dynamic anatomical ultrasound assessment for breast lesions: a prospective study of diagnostic performance. J Med Ultrasonics (2026).
<https://doi.org/10.1007/s10396-026-01657-1>
- 2) 何森亜由美. 誰も教えてくれなかった乳腺エコー. 医学書院 (2014).



何森 亜由美 (いずもり あゆみ)

香川医療生活協同組合 高松平和病院 乳腺外科

【学歴】

1995年 香川医科大学医学部卒

【職歴】

1995年3月 高松平和病院外科 勤務

2005年4月 たけべ乳腺クリニック 常勤医

2010年1月 がん研究会がん研有明病院 乳腺センター外科 指導医

2011年4月 高松平和病院 乳腺外科

とくしまブレストケアクリニック

がん研究会がん研有明病院 乳腺センター外科 嘱託医員

2016年4月 高松平和病院 乳腺外科

とくしまブレストケアクリニック

2021年4月 高松平和病院 乳腺外科

とくしまブレストケアクリニック

川崎医科大学附属病院健康診断センター 非常勤

【所属学会】

日本外科学会、日本乳癌学会、日本乳癌検診学会、日本乳腺甲状腺超音波診断医学会、日本超音波医学会

【専門医等】

日本乳腺甲状腺超音波診断医学会 理事、用語診断基準委員会 委員

日本乳癌検診学会 評議員

日本超音波医学会 教育委員

日本乳癌学会 乳腺専門医

日本外科学会 専門医

マンモグラフィ読影認定医 (AS)

病理解剖資格認定医

【教育講演3】

知っておきたい妊娠・授乳期の乳房超音波検査 ～症例から学ぶ乳腺疾患～

Sono +

前田 奈緒子

妊娠・授乳期の乳房は、ホルモンの影響により急激かつ多彩な変化を示すため、通常の乳腺とは異なる特徴を理解したうえで超音波検査を行うことが重要である。特に本時期においては、生理的变化を十分に理解しないままでは病変の評価が困難となり、診断の遅れにつながる可能性がある。

妊娠期には腺房の増生により乳腺の厚みが増し超音波像も変化するが、その程度には個人差が大きく、週数に応じた典型像などは存在しない。したがって、背景乳腺の変化を踏まえたうえで所見を解釈することが求められる。

授乳期には腺房が乳汁で充満し、乳腺はさらに肥厚して均一な超音波像を呈することが多いが、乳汁の生成や分泌の差により左右差や区域性の不均一像を示す場合もある。さらに、授乳や搾乳のタイミングによって乳腺の厚みは変動し、超音波像が変化する点も本時期の重要な特徴である。

本時期にみられる病変としては、乳瘤や授乳性腺腫などの特有の良性疾患に加え、乳腺炎や膿瘍といった炎症性疾患、さらには乳癌も鑑別に挙げる必要がある。乳癌は内容物の性状により内部エコーが多彩に変化する。一方、授乳性腺腫はホルモンの影響を強く受けて急速に増大し、時に梗塞壊死を伴うことがあり、乳癌との鑑別が問題となる場合がある。また、線維腺腫や管状腺腫などの良性腫瘍も妊娠・授乳期には背景乳腺と同様に変化を呈し、内部エコーや境界の評価が困難となることがある。これに対し乳癌は、周囲乳腺が変化する中で、異なるパターンとして認識される点が重要である。妊娠・授乳期の乳癌は頻度としては稀であるものの、乳腺の生理的变化により腫瘍の認識が遅れ、診断時には進行している症例も少なくない。したがって、多彩な背景乳腺に惑わされることなく、常に悪性病変の可能性も考えた観察が重要である。

本講演では、妊娠・授乳期乳房の生理的变化を踏まえたうえで、乳房超音波検査における読影のポイントについて解説するとともに、良性疾患、乳腺炎、乳癌の症例を提示しながら、実臨床における診断の考え方について共有したい。



前田 奈緒子（まえだ なおこ）

Sono +

【学歴】

1994年3月 大東医学技術専門学校 臨床検査科 卒業
2024年4月 日本医療大学大学院保健医療学研究科 在学中

【職歴】

2008年11月 国際医療福祉大学三田病病院 検査科
2012年2月 よしもとプレストクリニック
2020年1月 Sono + 開業

【所属学会】

日本乳癌学会
日本乳癌検診学会
日本超音波検査学会
日本超音波医学会
日本乳腺甲状腺超音波医学会

【専門資格等】

超音波検査士（体表・消化器）

【乳房エキスパート看護職セッション】

患者の納得と安心を支える ～産後1年4か月で乳房全摘となった事例から～

母乳・育児相談室 Mamma Mama

山本 淳子

当施設が立地する瑞穂市は、岐阜県の南西部、濃尾平野に位置し名古屋まで電車で25分の場所にある。市の人口は約5万6千人、年間出生数は約600人、富有柿発祥の地としても知られる自然豊かな街である。その街に2007年、産後の母子支援の場として外来のみの助産院を開設した。

当院の利用者は、妊娠中から産後、乳幼児期にかけて、授乳や育児に関する不安や不調を抱える母親が主で、これまでの利用数は延べ1万5,000人、コロナ禍以降は年間延べ650人ほどが当院を利用している。

利用者の多くは「うまく授乳できない」「母乳が出ない」「児の体重が増えない」といった悩みを抱えているが、全体の約2割は乳房のしこりや痛みを訴え、それを取り除くことを希望して来院する。

もともと授乳中は、乳腺の発達と乳汁の産生により乳房が緊満しやすく、児の吸着や哺乳が充分でない場合は、より乳房の緊満感が増して乳管の詰まりや痛みが生じやすい状況にある。発熱、腫脹が突然現れたり、時には無痛性のしこりが徐々に形成され大きくなって気付く事もあり、母乳外来では日々その原因を見極め、症状に即した対応を心がけている。

このように我々が母乳外来で遭遇するしこりは、乳管閉塞や児の飲み残しなどによる「乳汁うっ滞」が原因となることが多い。適切な排乳（ドレナージ）が行われればしこりは縮小し痛みも改善するが、改善が見られない場合や感染が疑われる場合は、重症乳腺炎や膿瘍、その他の乳腺疾患の可能性を考慮し、医療機関への適切な受診が必要となる（乳腺炎ケアガイドライン2020）。

また近年は出産年齢の高年齢化に伴い、妊娠期・授乳期乳癌が徐々に増える傾向にある。乳癌診療ガイドライン2022には、妊娠関連乳癌のうち授乳期乳癌は予後不良である可能性が高いことが示されており（BQ18）、乳房ケアを行う母乳外来では常に、これらを念頭に適切な医療へ繋ぐための判断が求められる。

一方で、助産院を訪れ「胸のしこりを助産師のケアで何とかしてほしい」と願う母親に対し、医師への受診を勧めることは「病気の可能性」を示唆するものであり、母親の中にはそれを受け入れがたく感じる者も少なくない。育児に翻弄される母親にとって、受診勧奨はときに治療への拒否感や医療者への不信感を生み、結果として母親の健康や安全を損ねてしまう恐れもある。よって支援者には、患者である母親が安心して受診し治療に臨めるよう、支援する役割が求められる。これについて自分の考えを深めるきっかけとなった当院の事例を紹介し、そこで得た気づきを述べたいと思う。



山本 淳子 (やまもと じゅんこ)

母乳・育児相談室 Mamma Mama

【学歴】

1987年3月 滋賀県立短期大学看護部看護学科 卒業

1992年3月 滋賀県立総合保健専門学校看護学科助産師課程 卒業

【職歴】

1987年 滋賀医科大学医学部付属病院

1992年 大津赤十字病院

1998年 奈良県国保連合会生駒総合病院

2000年 新生児訪問・両親学級・健診業務など地域の保健センターより嘱託

2005年 出張開業届出

2007年 外来のみの助産所「母乳・育児相談室 MammaMama (マンマママ)」を開設
現在に至る

【所属学会】

日本周産期メンタルヘルス学会

日本助産師会

【専門資格等】

助産師・看護師

日本助産評価機構 アドバンス助産師

日本助産師会 開業助産師ラダーⅠ承認

日本助産師会 産後ケア実務助産師研修修了

日本マタニティヨーガ協会 認定インストラクター

アドバンストブレコンサポーター

【スポンサードセミナー 1】

乳癌集学的治療の最前線 ー 全身薬物療法に基づく低侵襲局所療法の実践ー

医療法人徳洲会 東京西徳洲会病院

佐藤 一彦

近年の乳癌治療では、患者との共同意思決定や患者報告アウトカムが重視されるようになり、腫瘍生物学的特性に基づく治療の個別化とあわせて大きく変化しつつある。特に乳癌局所療法では、根治性や合併症のみならず、治療負担の軽減や整容性の維持も重視されるようになり、根治性を維持しつつ治療の低侵襲化が進んでいる。

早期乳癌に対する全身治療はサブタイプごとに細分化され、トリプルネガティブ乳癌やHER2陽性乳癌では積極的な術前薬物療法が行われる一方で、ルミナルタイプでは遺伝子発現解析に基づく適切な治療選択が行われている。こうした高度な全身治療の進歩を基盤として、局所療法における個別化・最適化も可能となった。乳房手術では切除範囲の縮小化が図られ、温存手術での整容性向上はもとより乳房切除術での皮弁の厚みを確保した(乳頭)皮膚温存乳房切除術が普及している。腋窩治療では、リンパ節転移陰性例に対するセンチネルリンパ節生検による腋窩郭清省略のみならず陽性症例に対しての術前化学療法による腋窩温存、さらには低リスク症例におけるセンチネルリンパ節生検自体の省略も検証されている。乳房温存術後の放射線治療においても、全乳房寡分割照射や乳房部分照射、さらには照射省略に至るまで多様な選択肢が検討されている。特に乳房部分照射では、小線源治療を用いた方法が注目され、日本乳癌学会・日本放射線腫瘍学会合同による「小線源治療による乳房部分照射適正治療指針」の作成を通じ、手技の標準化と普及が進められている。

これら局所療法の低侵襲化は、単なる治療の縮小ではなく、エビデンスに基づき個別化された適切な全身薬物療法を前提として初めて実践可能となる。本講演では、最新の全身治療の動向を総括するとともに、センチネルリンパ節生検導入初期から乳房部分照射の普及に至るまでの自験例を踏まえ、集学的治療における低侵襲局所療法の歩みと今後の展望について概説する。



佐藤 一彦（さとう かずひこ）

医療法人徳洲会 東京西徳洲会病院

【学歴】

1994年3月 防衛医科大学校 卒業

2005年9月 防衛医科大学校医学研究科 修了(医学博士)

【職歴】

1994年 防衛医科大学校病院にて初任実務研修

1997年 防衛医科大学校外科学講座にて乳癌診療・研究に従事

2003年 米国Dana-Farber Cancer Institute, Harvard Medical School 留学

2008年 東京西徳洲会病院 乳腺腫瘍センター長

2008年 中国国立中山大学医学部 客員教授

2015年 同 包括的がん診療センター長

2017年 同 副院長

2023年 同 院長

2024年 東京西徳洲会病院 名誉院長

現在に至る

【所属学会】

日本乳癌学会、日本外科学会、日本臨床外科学会、日本癌治療学会、日本放射線腫瘍学会、American Society of Clinical Oncology (ASCO)

【専門資格等】

医学博士、日本外科学会 指導医・専門医、日本乳癌学会 指導医・専門医、日本がん治療認定医機構 認定医、検診マンモグラフィ読影認定医、外国人研修指導医(厚生労働省)

【研究・業績】

センチネルリンパ節生検および乳房部分照射など、乳癌に対する低侵襲治療を中心とした研究・診療に従事している。センチネルリンパ節生検については、黎明期より研究・導入に携わり、本邦初の学術発表および論文化を行うとともに、その普及と標準化に尽力してきた。乳房部分照射においては、小線源治療を用いた乳房温存療法の発展と普及に取り組み、アジア諸国最大規模となる乳房部分照射の臨床経験を有する。筆頭著者として多数の英文論文を発表し、日本乳癌学会奨励賞、財団法人がん研究振興財団がん研究助成金、日本外科学会研究奨励賞、深洲乳癌学会功労賞などを受賞。現在、日本乳癌学会・日本放射線腫瘍学会合同「小線源治療による乳房部分照射適正治療指針」作成委員を務め、低侵襲かつ個別化された乳癌治療の確立を目指している。

【スポンサードセミナー2】

乳癌診療の継続を支えるエクオール役割 ～乳腺外科医の視点から～

独立行政法人国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター 乳腺外科

木村 優里

乳癌治療の進歩により早期乳癌患者の予後は改善し、長期生存が得られるようになったことから、再発抑制効果のみならず、治療期間中および治療後のQOL維持やサバイバーシップ支援の重要性が高まっている。特にホルモン受容体陽性乳癌では、術後内分泌療法が5年、10年にわたり継続されるため、治療関連症状への対応は日常診療における重要な課題となっている。

乳癌の好発年齢は40～60歳代であり、更年期症状を経験しやすい年代と重なることから、乳癌診療と女性ヘルスケアは密接に関連している。乳癌患者の長期フォローアップにおいては、更年期症状、骨代謝、妊孕性など女性特有の健康課題への対応が求められている。

さらに乳癌患者では、化学療法による卵巣機能低下や早発閉経、あるいは内分泌療法に伴い、ホットフラッシュ、睡眠障害、気分変調、関節症状、疲労、骨密度低下、泌尿生殖器症候群 (genitourinary syndrome of menopause : GSM) など、多彩な更年期関連症状を経験する。これらの症状は患者の生活の質に影響するだけでなく、内分泌療法のアドヒアランス低下や治療中断にもつながることが報告されており、長期治療を支えるうえで適切な副作用マネジメントが求められる。

一方、乳癌患者においては、ホルモン補充療法の適応が慎重に判断されることから、非ホルモン性アプローチを含めた支援が重要となる。実臨床では、生活習慣の改善や運動療法、心理社会的支援に加え、漢方薬を含む支持療法が広く活用されている。患者の価値観や症状の程度は多様であり、一律の対応ではなく、個々の患者に応じたサポート、介入を検討することが求められる。

近年、大豆イソフラボンの一種であるダイゼインの腸内細菌による代謝産物であるエクオールが、更年期症状に対する新たな選択肢として注目されている。エクオールはエストロゲンと類似した化学構造を有し、更年期女性を対象とした研究では、ホットフラッシュや関節症状をはじめとする更年期症状やQOLの改善、さらには閉経後の骨代謝や骨密度への好影響などが報告されている。エクオールは乳癌サバイバーにおいても関心が高まっている一方で、乳癌患者における位置づけや活用方法については十分な理解と適切な情報提供が必要である。

本講演では、乳癌サバイバーシップにおける更年期症状マネジメントの現状と課題について概説するとともに、乳腺外科診療の現場で実践されている支持療法の実際を紹介する。さらに、漢方薬やエクオールを含む非ホルモン性アプローチの現状と可能性について整理し、長期にわたる乳癌診療を支えるための多職種・多診療科連携の重要性について乳腺外科医の立場から共有したい。



木村 優里（きむら ゆり）

独立行政法人国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター 乳腺外科

【学歴・職歴】

広島大学医学部医学科 卒業

2013年 広島大学病院（研修医）

以降広島大学病院またはその関連施設にて勤務

2019年 広島大学病院 乳腺外科、広島大学・大学院 入学

2022年 広島大学・大学院 博士課程 卒業 学位取得

2023年 聖路加国際病院 乳腺外科 臨床助教

2024年 がん研究会 有明病院 乳腺外科 副医長

2026年 呉医療センター・中国がんセンター 乳腺外科

【所属学会等】

日本外科学会、日本乳癌学会、日本臨床腫瘍学会、日本オンコプラスチックサージャリー学会、
日本人類遺伝学会、日本遺伝性腫瘍学会、日本乳腺甲状腺超音波医学会、日本リンパ浮腫学会、
日本臨床外科学会、日本癌学会、日本癌治療学会等

日本乳腺甲状腺超音波医学会 評議員

日本乳癌学会 総務委員会 会員サービス検討小委員会 U-40 MIRAY1グループ

JCOG乳がんグループ 新規試験立案外科WGメンバー

JCOG乳がんグループ 広報委員

WJOG乳腺グループ若手会 BRIGHT Steering-Committee

WJOG教育広報委員会

CSPOR-BC 公開部門委員

JBCRG 新規研究検討委員会委員

【専門資格等】

医学博士

日本外科学会 外科専門医

日本乳癌学会 乳腺専門医

日本がん治療認定機構 がん治療認定医

日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医・指導医

日本遺伝性腫瘍学会 遺伝性腫瘍専門医

検診マンモグラフィ読影認定医（AS判定）

乳がん検診超音波検査判定医師

乳房再建用エキスパンダー／インプラント責任医師

関連学会・研究会予定

第24回日本乳癌学会九州地方会

会期：2026年9月26日(土)・27日(日)

会場：沖縄県医師会館、沖縄県医師会館

当番世話人：玉城 研太郎(医療法人那覇西会 那覇西クリニック)

吉永 康熙(福岡大学医学部 外科学講座 呼吸器乳腺小児外科)

第54回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会

会期：2026年9月26日(土)・27日(日)

会場：別府国際コンベンションセンター ビーコンプラザ

会長：檜垣 直幸(野口病院 内科部長)

第34回日本がん検診・診断学会総会

会期：2026年9月11日(金)・12日(土)

会場：仙台サンプラザ

会長：鈴木 昭彦(東北医科薬科大学 乳腺・内分泌外科 教授)

第23回日本乳癌学会中部地方会

会期：2026年9月5日(土)・6日(日)

会場：じゅうろくプラザ

当番世話人：二村 学(岐阜大学医学部附属病院 乳腺外科)

第23回日本乳癌学会中国四国地方会

会期：2026年10月9日(金)・10日(土)

会場：倉敷市芸文館

当番世話人：平 成人(川崎医科大学 乳腺甲状腺外科学)

第35回日本婦人科がん検診学会総会・学術講演会

会期：2026年10月10日(土)・11日(日)

会場：にぎたつ会館

会長：竹原 和宏(国立病院機構 四国がんセンター 婦人科手術部長)

第36回日本乳癌検診学会学術総会

会期：2026年11月6日(金)・7日(土)

会場：グランドメルキュール札幌大通公園

会長：高橋 将人(北海道大学病院 乳腺外科)

第24回日本乳癌学会近畿地方会

会期：2026年11月21日(土)

会場：奈良県コンベンションセンター

当番世話人：山城 大泰(公益財団法人天理よろづ相談所病院 乳腺外科)

第22回日本乳癌学会関東地方会

会期：2026年12月5日(土)

会場：パシフィコ横浜 会議センター

当番世話人：木下 貴之(国立病院機構 東京医療センター 副院長・がん治療センター長)

三階 貴史(北里大学医学部 乳腺・甲状腺外科学 主任教授)

第36回日本乳癌画像研究会

会期：2027年2月13日(土)・14日(日)

会場：福岡国際会議場 5階

当番世話人：松林(名本) 路花(国立病院機構九州医療センター 乳腺センター副部長／

超音波・生理検査センター長)

第33回日本産婦人科乳腺医学会

会期：2027年3月14日(日)

会場：札幌コンベンションセンター

会長：渡利 英道(北海道大学大学院医学研究院 産婦人科学教室 教授)

第33回日本乳腺疾患研究会

会期：2027年3月5日(金)・6日(土)

会場：岡山コンベンションセンター

会長：平 成人(川崎医科大学 乳腺甲状腺外科学)

第24回日本乳癌学会東北地方会

会期：2027年3月6日(土)

会場：仙台国際センター

当番世話人：島田 友幸(平鹿総合病院 乳腺外科)

今井 一博(秋田大学大学院医学系研究科 胸部外科学講座)

日本超音波医学会第100回学術集会

会期：2027年5月28日(金)～30日(日)

会場：大宮ソニックシティ

会長：尾本 きよか(自治医科大学附属さいたま医療センター 総合医学第1講座〈臨床検査部〉)

協賛 企業・医療機関 一覧

[企業]

アートランド株式会社
あすか製薬株式会社
アストラゼネカ株式会社
エーザイ株式会社
株式会社LA Solutions
大塚製薬株式会社
キッセイ薬品工業株式会社
中外製薬株式会社
株式会社ツムラ
日本イーライリリー株式会社
株式会社ネットカムシステムズ
富士製薬工業株式会社
富士フイルムメディカル株式会社
株式会社メディコン
持田製薬株式会社

[医療機関]

医療法人慈桜会 瀬戸病院
医療法人社団横浜産婦人科 的野ウィメンズクリニック

五十音順 2026年8月6日現在

謝 辞

第17回関東産婦人科乳腺医学会の開催に際しまして、上記の企業・医療機関から多大なるご助成、ご協賛をいただきました。ここに感謝の意を表します。

第17回関東産婦人科乳腺医学会
会長 竹田 奈保子

**第17回関東産婦人科乳腺医学会
プログラム集**

発 行 2026年8月

編 集 たけだ乳腺・婦人科クリニック
〒190-0012 東京都立川市曙町2丁目6-10 N8ビル6階

印 刷 株式会社メッド 東京品川営業所
〒108-6028 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティ A棟28階
TEL：03-6717-2790 FAX：03-6717-2791



月経困難症治療剤 処方箋医薬品^{注)}

薬価基準収載

ディナゲスト錠 0.5mg
DINAGEST Tablets 0.5mg

ジェノゲスト

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

※「効能又は効果」、「用法及び用量」、「禁忌を含む注意事項等情報」等の詳細は電子添文をご参照ください。



MOCHIDA

製造販売元<文献請求先及び問い合わせ先>

持田製薬株式会社

東京都新宿区四谷1丁目7番地

TEL 0120-189-522 (くすり相談窓口)

2023年2月作成 (N3)

都市をデザインし

暮らしを創造する

私どもは、不動産事業に関する
トータル事業を行っております。
不動産に関しては、どのようなことでも
アートランドにご相談ください。



アートランド株式会社



東京都港区南青山4丁目11番15号プレサージュ南青山2F



03-3479-5501



<https://www.artland-s.co.jp>

LH-RH^{注1)} 誘導体 マイクロカプセル型徐放性製剤

劇薬・処方箋医薬品^{注2)}

薬価基準収載

注1) LH-RH: 黄体形成ホルモン放出ホルモン

注2) 注意—医師等の処方箋により使用すること

リュープロレリン 酢酸塩注射用キット

1.88mg・3.75mg「あすか」

(注射用リュープロレリン酢酸塩)

リュープロレリン 酢酸塩 SR 注射用キット

11.25mg「あすか」

(注射用リュープロレリン酢酸塩)

効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む注意事項等情報等については電子添文をご参照ください。



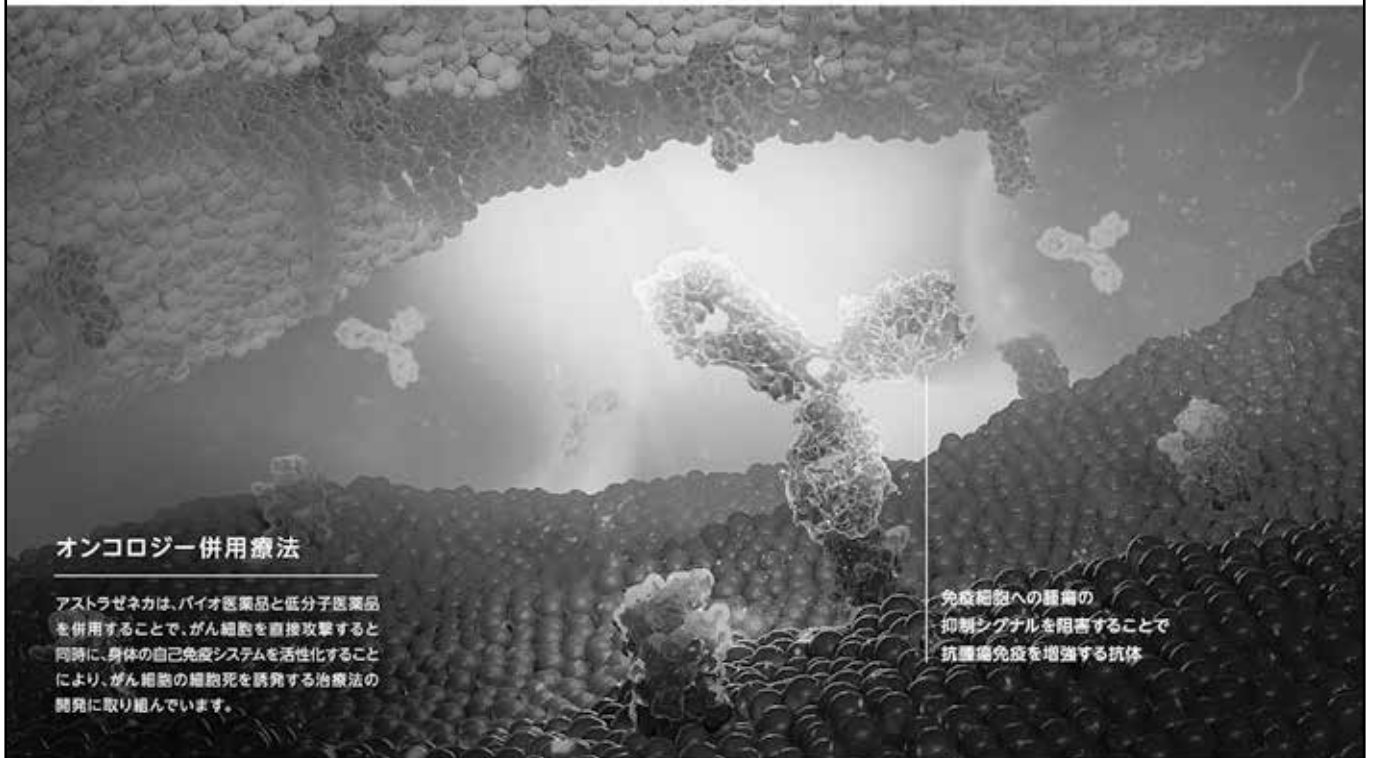
製造販売元[文献請求先及び問い合わせ先]
あすか製薬株式会社
東京都港区芝浦二丁目5番1号

販売元

武田薬品工業株式会社
大阪市中央区道修町四丁目1番1号

2025年12月作成

What science can do



オンコロジー併用療法

アストラゼネカは、バイオ医薬品と低分子医薬品を併用することで、がん細胞を直接攻撃すると同時に、身体の自己免疫システムを活性化することにより、がん細胞の細胞死を誘発する治療法の開発に取り組んでいます。

免疫細胞への腫瘍の抑制シグナルを阻害することで抗腫瘍免疫を増強する抗体

アストラゼネカ株式会社

〒530-0011 大阪市北区大淀町3番1号 グランフロント大阪タワーB
www.astrazeneca.co.jp/



hvc
 human health care



患者様の想いを見つめて、 薬は生まれる。

顕微鏡を覗く日も、薬をお届けする日も、見つめています。
 病氣とたたかう人の、言葉にできない痛みや不安。生きることへの希望。
 私たちは、医師のように普段からお会いすることはできませんが、
 そのぶん、患者様の想いにまっすぐ向き合っていきたいと思います。
 治療を続けるその人を、勇気づける存在であるために。
 病氣を見つめるだけではなく、想いを見つめて、薬は生まれる。
 「ヒューマン・ヘルスケア」。それが、私たちの原点です。

ヒューマン・ヘルスケア企業 エーザイ



AFUTUREFREEOFLF
 Global Alliance

エーザイはWHOのリンパ系フィラリア病制圧活動を支援しています。



GnRHアンタゴニスト

薬価基準収載

イセルティ錠 100mg

リンザゴリクスコリン錠

yselty® Tablets 100mg

劇薬 処方箋医薬品 (注意—医師等の処方箋により使用すること)

[文献請求先および問い合わせ先]
キッセイ薬品工業株式会社

<文献請求先><すり相談センター
東京都文京区小石川3丁目1番3号
0120-007-622

<販売情報提供活動問い合わせ先>
0120-115-737

「効能又は効果」、「用法及び用量」、「禁忌を含む注意事項等情報」等の詳細については、電子添文をご参照ください。

製造販売元



キッセイ薬品工業株式会社

松本市芳野19番48号

YL004-02
2026年3月作成

1/2 (天地 125 × 左右 180mm)

株式会社ツムラの医療関係者向けサイト

TSUMURA MEDICAL SITE

<https://medical.tsumura.co.jp>

漢方情報を
ネットから!



セミナーや講演会、
動画コンテンツなど
さまざまな漢方情報が
ご覧いただけます。



ご登録は
こちらから

<https://medical.tsumura.co.jp/reg>

Web講演会の参加申し込みや視聴予約、
オンデマンド動画のご視聴には会員登録が必要です。
医療関係者の皆様のご登録をお願いします。



Lilly



抗悪性腫瘍剤 CDK[※]4及び6阻害剤

薬価基準収載

ベージニオ錠 50mg
100mg
150mg

注) CDK: Cyclin-Dependent Kinase (サイクリン依存性キナーゼ)
アベマシクリブ錠 創薬 処方箋医薬品(注意—医師等の処方箋により使用すること)

効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む
注意事項等情報等については電子添文をご参照ください。

製造販売元〈文献請求先及び問い合わせ先〉
日本イーライリリー株式会社

Lilly Answers リリーアンサーズ
日本イーライリリー医薬情報問合せ窓口
0120-360-605 (医療関係者向け)
受付時間: 8:45~17:30 (土・日・祝祭日及び当社休日を除く)

PP-AL-JP-2757
2022年7月作成



月経困難症治療剤

薬価基準収載

アリッサ® 配合錠
alyssa® combination tablets

エストロロール・ドロスピレノン錠
処方箋医薬品[※] 注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

「効能又は効果」「用法及び用量」
「禁忌を含む注意事項等情報」等
につきましては、電子化された
添付文書等をご参照ください。



製造販売元、文献請求先及び問い合わせ先
富士製薬工業株式会社
富山県富山市水橋辻ケ堂1515番地
TEL. 0120-956-792 (くすり相談室)

電子添文確認用

(01)14987431120039

2025年9月作成

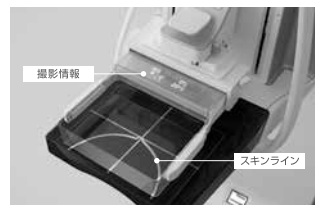


“ヒューマン・ファースト”を磨きあげた
新しいマンモグラフィのかたち。

プロジェクション機能

（オプション）

過去の撮影情報からポジショニングをサポート



トモシンセシス

（オプション）



2つのモードで幅広い臨床に適用

ST (Standard) mode

振り角: ±7.5度 Shot数: 19 解像度: 100μm

検診 / スクリーニング / フォローアップなど



HR (High Resolution) mode

振り角: ±20度 Shot数: 35 解像度: 100μm

精密の追加撮影 / 形態把握 など

AMULET SOPHINITY 販売名: デジタル式乳房用X線診断装置 FDR MS-4000 (AMULET SOPHINITY型) 認証番号: 第 304ABBZX00020000号
製造販売業者: 富士フイルム株式会社 販売業者: 富士フイルムメディカル株式会社

富士フイルム メディカル株式会社

<https://fujifilm.com/fms/>

乳がん・子宮がん同時検診対応

乳がん検診で
未来を守ろう



痛みが少ない



二人の医師によるWチェック



良心的な料金体制

24時間いつでもネット予約



MATONO
WOMEN'S CLINIC
的野ウィメンズクリニック

〒221-0802 神奈川県横浜市神奈川区六角橋1-6-14

白楽メディカルセンター4階

☎ 045-435-1107



東急東横線「白楽駅」西口より徒歩1分



提携駐車場あり（※駐車券をお持ちください）

BD EleVation™ Breast Biopsy System

BD EleVation™ バイオプシーシステム

超音波ガイド下乳房組織生検は次の時代へ

BD EleVation™ バイオプシーシステムは、単回の穿刺で複数の検体を採取する、人間工学に基づく乳房組織生検システムです。

- **Single Insertion Multiple Sample (SIMS™)** 単回の穿刺で複数検体を安定して採取できます。
- **短い検体採取時間** 1 検体あたり約 9 秒* で採取プロセスを完了します。
- **スマートモード** 必要に応じて検体採取プロセスを繰り返し、確かな組織採取をサポートします。
- **鋭利なニードルチップ** TriConcave™ (トライコンケーブ) 形状の鋭利なチップにより穿刺をサポートします。
- **選択可能なゲージサイズ (10G/12G/14G)** 症例に応じて柔軟な選択が可能です。

* 平均採取時間は非臨床試験における観察値であり、実臨床とは異なる可能性があります。
試験方法により試験成績も異なる可能性があり、当該データは社内試験により得られた参考値として記載しているものです。

Elevate your expectations 詳細は弊社営業担当者までお問い合わせください。

製造販売元
株式会社メディコン
カスタマーサービス www.bdj.co.jp/s/cs/

販 売 名: BD EleVation バイオプシーシステム
認 証 番 号: 302ADBZX00064000
クラス分類: [2] 管理医療機器
一般的名称: 吸引式組織生検用針キット

bd.com/jp/

BD, the BD Logo, BD EleVation, SIMS and TriConcave are trademarks of Becton, Dickinson and Company or its affiliates. © 2024 BD. All rights reserved.
BD-124673

